

平成25年度 第2回金沢市入札制度評価委員会の審議概要

開催日及び場所	平成25年9月2日(月) 金沢市役所 第3委員会室		
委員 (委員数5名) (出席数4名)	委員長 坂井 美紀夫(弁護士) 委員 後藤 正美(金沢工業大学教授) 委員 米田 満(公認会計士) 委員 松本 樹典(金沢大学教授:欠席) 委員 舟橋 秀明(金沢大学准教授)		
次第	1 開会 2 審議案件 (1) 工事等に係る入札・契約手続きの運用状況等について ア 平成25年4月1日から平成25年7月31日までに係る本市発注工事 及び工事関連委託業務の結果について イ 入札参加資格停止の運用状況及び談合情報への対応状況について (2) 委員があらかじめ抽出した案件に係る業者選考等の経緯について (平成25年4月1日から平成25年6月30日) (3) その他 3 閉会		
抽出案件	4件		
工事	制約付き一般競争入札	2件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 八日市2丁目線新幹線側道整備工事</li> <li>・ 平成24年度西部水質管理センター汚泥処理棟生物脱臭設備更新工事</li> </ul>
	指名競争入札		該当なし
	随意契約		該当なし
委託	制約付き一般競争入札	2件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ (仮称)戸板会館建設工事(建築工事)実施設計業務委託</li> <li>・ 神谷内町葵地区上水道整備事業実施設計業務委託</li> </ul>
	指名競争入札		該当なし
	随意契約		該当なし
審議内容	別紙のとおり		
委員会による報告 又は意見の具申	平成25年度第1四半期の発注工事に係る入札・契約手続きの運用については、概ね適正に行われていると判断する。 今年度実施した制度改正の検証等については、別紙のとおりである。		

(お問合せ) 〒920-8577 金沢市広坂1-1-1  
 金沢市総務局監理課 工事契約グループ  
 電話:076-220-2101

別 紙

総 括

委員からの意見は、概ね次のとおりであった。

建設工事について、今年度は、多くの制度改正を実施したが、その内最低制限価格等の引き上げについては、平均落札率の上昇が既に見られ、また、最低制限価格の千円単位の端数丸めについては、最低制限価格と同額での落札とくじ引きの増加という形で現れており、受注者の偏り解消に一定の効果が認められる。

今後は落札制限対象範囲の拡大などを含めた改正が工物品質や事業者の適正な利益確保につながるか、また、受注者の偏り解消にどの程度有効かを更に検証すべきである。

工事成績評点の見直しについては始まったばかりであり、その効果については今のところ定かではない。引き続き推移を見守りたい。

なお、個別抽出案件により、工事及び委託業務の入札契約手続が適正に執行されていることを確認した。

意見の詳細は、次のとおり。

質 疑 ・ 意 見	応 答
<p><b>1 工事・委託業務に係る入札・契約手続きの運用状況等</b></p> <p>○ 平均落札率が、前年度通年分よりかなり上昇しており、最低制限価格を国に準じて引き上げた効果が既に見受けられる。</p> <p>○ 複数の業者が最低価格で応札した場合に、くじ引きをせずに業者を決定することはあるのか。</p> <p>○ 最低制限価格の端数を千円単位にまるめた結果、くじ引きが増加したことに対してどのように考えているか。 落札者の偏りは解消されたか。 電子くじの導入は考えていないのか。</p> <p>○ くじ引きでいくつか落札した場合に、次の案件のくじを引けない等の制限はかけているのか。</p> <p>○ 最低制限価格の端数丸めについては、最低制限価格と同額での落札とくじ引きの増加という形で現れており、受注者の偏り解消に一定の効果が認められる。 今後は、落札制限対象範囲の拡大などを含めた制度改正が工物品質や事業者の適正な利益確保につながるか、また、受注者の偏り解消にどの程度有効かを、更に検証すべきである。</p> <p>○ 今年度は7段階評価に変更し、工事の難易度によって加点されるので平均点が上がるだろうとのことだが、今期80点以上がなかったことについてどう考えているか。</p> <p>○ 工事成績評点の利活用の状況はどうか。</p> <p>○ 工事成績評点の見直しについては、始まったばかりであり、その効果については今のところ定かではない。引き続き推移を見守りたい。</p>	<p>・ くじ引きを辞退することはできないため、必ずくじ引きで落札順位を決定している。</p> <p>・ 最低制限価格と同額でのくじ引きの増加は予想していたところであり、今後、どのように推移するのか見守りたい。 積算に長けた一部の事業者への落札の偏りは、ある程度解消されている。 ただ、千円単位でも同額入札があるとは限らず、また、くじ引きに強い事業者と弱い事業者が見受けられるなど、今のところ効果は認められるものの落札の偏りが完全に解消されたとまではいえない。</p> <p>・ 電子くじは入札者の見えないところで落札者が決定するため、外れが続くと不信感を抱かれる可能性があるなど、課題があると考えている。 もう少し様子を見守ると共に、他都市の対応も調べてみたい。</p> <p>・ 入札参加時に落札制限を行うだけである。</p> <p>・ 大型工事は難易度が高く、その結果評点も高くなる傾向があるが、第1四半期は道路修繕工事など設計額の小さい工事が多かったため、このような評価になったと考えている。 年末、年度末には大型工事の検査が控えているため、的確に検査を行うと共に評点も注視していきたい。</p> <p>・ 総合評価において、優良施工業者は加対象とするなど、有効に活用している部分はある。ただ、指名競争入札の執行回数が少なくなったせいで、評点を反映させる場面が以前よりも減っている。</p>

質 疑 ・ 意 見	応 答
<p><b>2 委員があらかじめ抽出した案件に係る業者選考等の経緯について</b></p> <p><b>八日市2丁目線新幹線側道整備工事</b></p> <p>○ 13社によるくじ引きになった理由はどのように考えているか。</p> <p><b>平成24年度西部水質管理センター汚泥処理棟生物脱臭設備更新工事</b></p> <p>○ 入札業者のうち、不着の業者はどういった事由で不着となったのか。</p> <p>○ 参加業者が少なく感じるが、競争性は保たれているのか。</p> <p><b>(仮称)戸板会館建設工事(建築工事)実施設計業務委託</b></p> <p>○ 本件の落札率は委託業務全体の中でどのような位置付けなのか。</p> <p>○ 応札者間の価格差が大きいと感じるがその理由についてどう考えているか。</p> <p><b>神谷内町葵地区上水道整備事業実施設計業務委託</b></p> <p>○ 参加業者のほとんどが最低制限価格と離れた、高額での応札となっているが、その理由はどう考えているか。</p> <p><b>その他質疑応答等</b></p> <p>○ 今回の「(仮称)戸板会館建設工事(建築工事)実施設計業務委託」のように既存の建物に隣接して建築物を新設する際に、2つの建物の連携を図る、という考えはないのか。 相乗効果が期待できる設計思想を持てば、既存の建物の価値も高めることができるのではないか。</p>	<p>・ 比較的、施工内容が簡易であり、積算が容易であったと推測されること、また、周辺の施工条件も良好だったことが、入札参加者及び最低制限価格での応札者が多かった理由であると考えている。</p> <p>・ 参加の意思表示はしたものの、応札額等の条件を検討した結果、参加できないと判断したものと推測している。</p> <p>・ 3から5社が応札可能な施工内容であり、競争性は保たれていると考えている。</p> <p>・ 委託業務の平均落札率は77%前後及び93%前後の2つの集団を形成する傾向にあり、そのうち建築設計業務の平均落札率は77.08%であり、本件は建築設計業務の厳しい競争の中の1件である。 なお、建築設計業務は競争が厳しい傾向にあるが、理由については不明である。</p> <p>・ 本件は配置や間取り等を図示しており、過去の業務実績を応用して遂行することが可能であると考えられる。このことから実績が豊富な業者は人件費を抑えることができるため、最低制限価格周辺で応札したものと推察される。また、最低制限価格から離れた額で応札した業者は、実績が乏しいか受注意欲がなかったのではないかと考えている。</p> <p>・ 委託業務全般に言えることだが、一般的な業務内容で過去の案件の応用が利きそうなものは、比較的簡易な案件として落札率が低くなり、1から手掛ける必要がある業務は、高い落札率となる傾向がある。 本件の業務内容は後者に属することから、事業者は難度が高いと判断し、高額での応札になったものと考えている。</p> <p>・ 国や県からの補助金を活用する際に、用途に制限をかけられることがあるため、連携を図るためには課題が多く難しい部分がある。</p>